

No.	種 別	内 容
1	基準項目	教育内容・方法
	指摘事項	(1) 教育課程等 3) 修士課程において、共通科目における必修科目の設定と、学部の科目設定との整合性が取れていない。
	評価当時の状況	平成 16 年度 7 月に修士課程大学院学生に対して授業アンケートを取ったところ、課程修了の認定条件として共通科目を 2 単位以上必要とすること（必修科目扱い）が学生にとってかなり負担となっていること、また、共通科目における「応用数学特論Ⅰ、Ⅱ」の講義に対する満足度が非常に低いことが判った。これは専門授業科目を選択科目扱いにしているのに対して、共通科目を必修科目扱いにしているためである。
	評価後の改善状況	カリキュラム改正を行い、現行のカリキュラムでは共通科目の必修科目扱いを廃止した。 さらに国際化を目指して「英語論文作成特別演習」「国際学会等発表特別演習」等の新しい講義科目を開講して、学生の満足度が向上している。また、平成 21 年度から技術倫理に関する講義科目を開講する予定である。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	別添 資料 1「学則第 31 条 別表 3 修士課程 教育課程」および 資料 2「学則第 31 条 別表 4 博士後期課程 教育課程」参照	
	<大学基準協会使用欄>	
検討所見		
改善状況に対する評定	1      2      3      4      5	